

ESD プログラム (ESD ティーチャー) 履修の手引き

1. プログラムの趣旨・概要

- ESD プログラムの履修を通して、学校や地域において ESD を適切に計画し、実践できる教員「ESD ティーチャー」を目指します。
- 本プログラムでは、授業科目以外に、ESD 実践 (学校や地域での ESD に関わるボランティア活動) や、ESD 演習 (授業以外での ESD に関する学習)、現職教員と共に ESD 学習指導案作成を学ぶ ESD セミナー (3 回生以上) が用意されています。
- 「スタートアップ⇒プラクティス⇒グローバル」とステップアップし、最終的に「ESD ティーチャー」が授与されます。

2. プログラム履修条件・申請の説明会・申請方法

- 本プログラムはすべての学年の学生を対象としています。人数制限はありません。
- 5 月 19 日 (火) 18:00~18:30 Microsoft Teams で説明します。そこで登録申請方法をお伝えしますので、履修希望が固まれば、5 月 31 日 (日) までに、登録フォームより申し込んでください。

3. 授業科目・履修方法

(1) スタートアップ・プログラム

① ESD プログラムに関わる必修科目

ESD と学校教育(前期)、ESD-SDGs 基礎論(前期)

ESD 概論(後期)、ESD と生活科・総合的な学習の時間(後期)

② 以下の ESD 実践や ESD 演習に各 1 回以上参加し、ポートフォリオを作成

実践：ESD 子ども広場、ユネスコスクール野外活動等支援、東大寺寺子屋支援

被災地支援ボランティア、陸前高田市文化遺産調査団、等

演習：学ぶ喜び ESD 連続公開講座、ESD 実践交流会、等

(2) プラクティス・プログラム

- ① 選択必修科目である「ICT、防災教育に関わる科目」、「環境教育、世界遺産・文化遺産に関わる科目」より、それぞれ 1 科目以上

- ② ESD 実践や ESD 演習に各 1 回以上参加 (スタート・アップと同じ)

(3) グローバル・プログラム

- ① ユネスコスクール推奨科目より 2 科目以上を履修してください。

- ② ESD 連続セミナーに 5 回以上参加し、ESD 学習指導案を作成します。

ESD 学習指導案の書き方は ESD 連続セミナーで学びます (3 回生より)。

(4) 修了の判定

原則として 3 年かけて履修していただきますが、自らの履修計画により短縮して履修することも可能です。ポートフォリオシステムを使って、ESD 実践・ESD 演習の履歴を蓄積し、最終的にポートフォリオと ESD 学習指導案を 1 月末に提出していただきます。書類審査の上、年度末に ESD ティーチャーを授与します。

スタートアップ・プログラム：必修科目 (2 科目以上履修してください)

ESD 概論	ESD と学校教育
ESD と生活科・総合的な学習の時間	ESD-SDGs 基礎論

プラクティス・プログラム：選択必修科目

環境教育、世界遺産・文化遺産に関わる科目 (1 科目以上)	ICT、防災教育に関わる科目 (1 科目以上)
山間地教育入門	情報社会と法・倫理
持続発展教育と文化遺産	情報機器の操作
地域生態論	情報メディアの活用
フィールドワークで地域に学ぶ	教師のための情報モラル
ESD と世界遺産	地理学概論

グローバル・プログラム：ユネスコスクール推奨科目 (2 科目以上)

人権と教育	生涯教育計画特講 I	文化遺産芸術学演習 II
日本国憲法	肢体不自由教育方法	ユーラシア美術史
キャリア形成と人権	知的障害教育方法	アジアの中の日本美術史
教育人権アプローチ特講	障害児の発達と学習	地域文化論
教育人権アプローチ演習	校外学習指導特講	造形芸術学特講
文化遺産芸術学演習 I	大学での学び入門(文化遺産)	地理学野外実験
生涯教育文化特講		

◇ESD（持続可能な開発のための教育）とは

ESD とは持続可能な社会づくりの担い手を育むことを目的とした教育です。2015年に国連で持続可能な開発目標（SDGs）が採択されました。気候変動・資源の枯渇・生物多様性の劣化といった環境問題、紛争・テロ等の平和に関する問題、貧困・生産と消費といった経済・社会問題といった地球的課題が顕在化してきており、世界中でSDGs達成のために取組が進められています。日本では、新学習指導要領前文に「持続可能な社会の創り手」の育成が明記されました。文部科学省（日本ユネスコ国内委員会）では、ESDをSDGsの達成に貢献する教育と位置付けています。また、学校現場におけるESDの推進拠点としてユネスコスクールを認定しており、奈良教育大学は、2007年に日本の大学として最初にユネスコスクールへの加盟が認められた大学であることから、ESDを推進しています。

◇ESDティーチャーとは

ESDティーチャーは、各学校でのESD推進の担い手です。教師としての基盤的力量に加えて、豊かな教養をもとに、地域を教材化し、子どもの主体的な学びを引き出し、ESDを実践できる力量をそなえた教員を目指します。

本プログラムでは、ESDやSDGsに関する理解を深めるとともに、現職の先生方との協働的な研修会に参加することで、学級経営や生徒指導など、学校現場で求められる教師としての基盤的力量の形成も目指します。

◇ESD実践（学校や地域でのESDに関わるボランティア活動等）

ESD子ども広場、ユネスコスクール野外活動等支援、東大寺寺子屋支援、被災地支援ボランティア、陸前高田市文化遺産調査団等、地域での環境保全ボランティア案内は、ESDプログラム登録者にメールでします。

◇ESD演習（授業以外でのESDに関する学習）

ESD連続公開講座、ESD実践交流会、陸前高田市文化遺産調査団報告会、各種ボランティア活動報告会、ESDに関わる研究会、実践交流会など案内は、ESDプログラム登録者にメールでします。



ESDを実践する教員に求められる資質・能力